

報道関係各位

2019年4月18日

## 2019年3月期通期業績予想を修正

- Permasteelisa以外のLIXILグループの事業は計画通りに進捗
- Permasteelisaに関連し、前回業績予想より当期利益が545億円悪化の見込み
- LIXILグループはPermasteelisaと密接に連携し、収益力回復に向けた再生計画を策定

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は本日、2019年3月期の通期業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。2018年10月22日に公表した通期業績予想に対し、当社の主要事業会社の一つである Permasteelisa S.p.A.（以下 Permasteelisa）を除き、LIXIL グループの事業は計画通り進捗しています。事業利益<sup>※1</sup>に関しては、海外事業が想定を下回っているものの、特に国内事業が需要の回復などに伴って好調を維持しています。しかしながら、Permasteelisa に関連し、前回の業績予想から当期利益が 545 億円悪化の見込みであることから、LIXIL グループは通期業績予想を下方修正しました。

### 2019年3月期の通期業績予想修正の概要

（単位：百万円）

	売上収益	事業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前回発表予想 (2018年10月22日)	1,845,000	45,000	1,500
今回発表予想 (2019年4月18日)	1,832,000	13,000	△53,000

※1 IFRS の事業利益は、日本会計基準（JGAAP）の営業利益に相当。「売上総利益」－「販売費及び一般管理費」で計算。

### 修正の主な理由と Permasteelisa の再生計画

LIXIL グループは、中国の Grandland Holdings Group Limited に Permasteelisa の株式を譲渡する契約を 2018 年 11 月に解除して以来、Permasteelisa および LIXIL グループ全体の事業強化に向けて、あらゆる可能性を検討してきました。その中で、Permasteelisa の受注物件に関し、多面的かつ細部にわたる分析を行うとともに、Permasteelisa の収益力回復に向けた再生計画の策定を進めてきました。

この分析を通じて、主に北米における複数のプロジェクト物件において、今後、工事完成までに要する工事コストの大幅な増加が見込まれることが判明しました。このコストの増加は、原材料価格等の高騰、現場作業員や技能工の不足に起因した人件費の大幅な上昇、熟練プロジェクトマネージャーの退職に伴うプロジェクトマネジメント能力の低下等によるものであり、工事損失引当金の追加計上が必要となりました。また、世界経済の停滞による影響を受け、Permasteelisa が手がけるプロジェクト物件の施主の経営状況が悪化するなど、施主の変更等が発生し、将来の回収が見込めないと判断された債権については、貸倒引当金を計上しました。

こうした状況に対し、LIXIL グループは Permasteelisa とともに再生計画を策定し、収益力の回復を目指します。再生計画に基づき、Permasteelisa は事業規模の縮小、遂行力に見合ったプロジェクトの選別受注、販管費削減による固定費の最適化、確実なキャッシュフロー経営への転換といった施策を推進します。なお、再生計画には事業規模の縮小や拠点の統廃合が含まれるため、国際会計基準（IFRS）に沿って減損テストを実施した結果、のれんを含む無形資産について減損損失を計上することとなりました。

また、2016年から Permasteelisa の CEO を務めてきた Riccardo Mollo は、社外で新たな機会を得るために退任します。後任として、現在、Permasteelisa の欧州地域の CEO を務める Klaus Lothar が Permasteelisa の CEO に就任します。Lothar は、LIXIL グループの経営陣と密接に連携しながら、この再生計画を実行し、新たな成長の実現につなげていきます。

## LIXIL グループ COO 山梨広一のコメント

「水まわり事業や建材事業の業績は計画通り、堅調に推移しており、特に国内事業が好調で、業績に貢献しています。一方、Permasteelisa に関連し、前回業績予想より、当期利益が 545 億円悪化する見込みです。LIXIL グループは、Permasteelisa の事業に関してあらゆる側面から包括的な精査・分析を行うとともに、Permasteelisa の経営陣と連携して、収益力回復に向けた再生計画の策定を進めてきました。

なお、2016年から Permasteelisa の CEO を務めてきた Riccardo Mollo は退任し、新たな道に進みます。厳しい状況にあった Permasteelisa の経営を引き継いだ Mollo は、高い倫理観を持ち、透明性の高いオープンなコミュニケーションを推進するとともに、強力な指導力を発揮してきました。彼の過去 3 年にわたる貢献とリーダーシップに対し、深く感謝いたします。後任として、Klaus Lothar が Permasteelisa の CEO に就任し、経営の舵取りを担います。Permasteelisa は、国際的に活躍する建築家とともに、世界に名だたる建築物を手がけてきた実績があります。再生に向けて、なすべきことは多くありますが、計画を着実に実行していくことで、Permasteelisa の財政基盤を強化できると確信しています」

## ■ LIXIL について

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在 70,000 人超の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXIL などのブランドを展開する、株式会社 LIXIL グループ（証券コード: 5938）は、2018 年 3 月期に 1 兆 6,648 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL について：[www.lixil.com/jp](http://www.lixil.com/jp)、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>